

ラブテックチェンバースライド

外観図

2-5461-01,06

2-5461-02,07

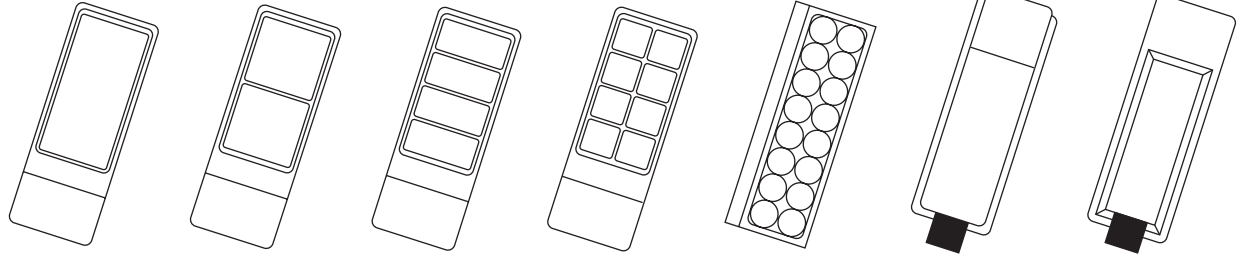
2-5461-03,08

2-5461-04,09

2-5461-05

2-5461-10

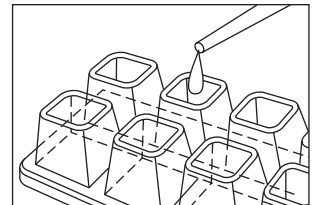
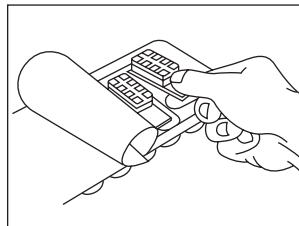
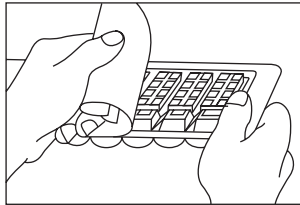
2-5461-11



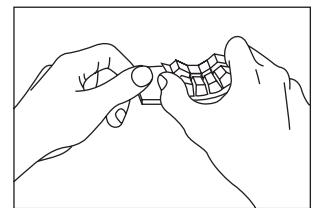
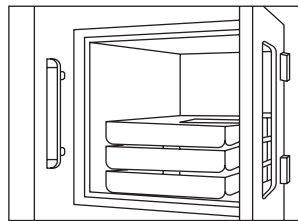
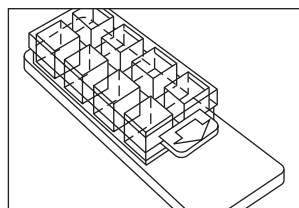
使用方法

2-5461-01 ~ 11

1. まずチェンバースライドを収納してあるトレイ上面の紙カバーを必要だけめくり取ります。カバーをめくったトレイは無菌状態で保管して下さい。
2. チェンバースライドのくもりガラス部分をつまんで、トレイの中から取り出します。親指と人差し指を使うと、取り出しやすくなります。
3. 取り出したチェンバースライドを滅菌された場所に置き、フタを取ります。このフタも、無菌状態で保管して下さい。
4. 各チェンバーの中に、培養材料や培養液を分注します。チェンバースライドを使用した培養では、各々の培養室が互いに独立していますので、種類の異なる材料や培養液による独立した培養を行うこともできます。



5. 再びフタをかぶせます。フタの開閉の際は、フタの矢印が常にスライドガラスのくもりガラスの方向を向くようにしてください。取り扱いがしやすく、また取り扱い中の浸染を防ぐことができます。
6. チェンバースライドをトレイの中に収納し、インキュベーターで培養します。トレイ側面に記号や番号を記入しておくとう便利です。
7. 培養後、チェンバーの中の培養液を吸引・除去し、スライドガラス上に培養された細胞層を固定します。チェンバースライドを使用した培養では、培養中の経過をいつでも検鏡できます。
8. チェンバースライドをテーブルの上に置き、くもりガラス部分をしっかりと押さえ、チェンバーをスライドから取り外します。



9. ピンセットなど先の細いものをガasketとスライドの間に差し入れ、ゆっくりとガasket部を引き上げてください。培養結果をスライドガラスとして保存する必要のないときは、とくにガasketをはがす必要はありません。
10. 染色・検鏡を行います。
11. くもりガラス部分に軟らかい鉛筆で検体番号を記入し、整理・保存します。

